

株式会社 ヒロミツ製作所

自動車部品加工技術の集約された独自の自動車部品加工用治具の受注販売化事業

現在、自社工場内でのみ製作し、使用している組立治具、測定治具、レーザー治具に対する同業他社からの需要が高まっています。需要に応えるために、受注生産をする段階において製品の精度保証をする必要があり、高精度の検査表を作成しうるための設備を導入するのが本事業です。

■ 代表者	代表取締役社長 有友 廣充	■ 所在地	〒610-0343 京田辺市大住池ノ端6番地の1
■ 設立	昭和37年12月1日	■ TEL/FAX	TEL. 0774-63-1364 / FAX. 0774-63-4329
■ 資本金	10,000千円	■ URL	http://www.hiro32.co.jp
■ 従業員数	26人	■ E-mail	info@hiro32.co.jp
■ 業 種	金属製品製造業	■ 得意分野	各種試作鋳金、3次元レーザー加工、データ作成からCAD/CAMモデリング、型製作、プレス、加工、組立、検査まで鋳金に関連する業務全てを一貫生産で実施

目的、取組のきっかけ

◆「困っている人がいたら、全力をかけて助ける」「ヒロミツイズム」の精神

当社の主力商品は自動車部品製造です。自動車の試作部品、極小ロット生産、量産部品をはじめ、予算がない、時間がないなどクライアントが困っていることに対して全力で対応を行っています。先代から受け継いだ「困っている人がいたら、全力をかけて助ける」「ヒロミツイズム」の精神として実践しています。その実践の中で当社は、データ作成、図面作成から加工、組立、最終納品する大型トラックの手配まで鋳金に関する業務全てを自社スタッフで一貫して対応ができるため、加工技術の蓄積と圧倒的なスピードを実現しています。CAD / CAMのような最新のデジタル技術を導入しながらも、職人のアナログ技術も同様に重要視しています。当社は30名弱の会社ですが、全社員がマルチスキルを持つように教育しています。業務の負荷が変わったり、クライアントの要望に対応したりするため応援や業務を柔軟に変更することで、会社が一丸となって困りごとに対応できるからです。



社内の作業風景



昼のバーベキュー

◆「精度保証」という新たな価値の提供

自動車部品には数多くの治具が使用されています。当社では、長年現場治具を使用してきた実績から積み上げられた経験と技術から、使用する素材の見直しや限界まで簡素化した構造により治具製造専門メーカーと比べて軽量化と低コストを実現しています。そのため、自社工場内でのみ製作し、使用している組立治具やレーザー治具など各種治具に同業他社からの需要が高まっていて、受注生産をする

段階において製品の精度保証をするため、高精度の検査表を作成する必要が生じたのがきっかけです。

取組内容

◆コーヒータムでの社員からの質問

当時所有する測定器はレイアウトマシンでしかないので、計測ポイントが3点しかなく計測が非常に難しい状態でした。側面、下面測定では測定物をセットし直すため、時間もかかる上に、誤差が出やすくなっています。自社内で実績がある治具でも、商品として出荷するためには製品の精度保証が必要で、既存の設備では難しいことが分かっていました。一方で、購入する設備は当社のような中小企業にとっては高額な測定器です。そんな中、コーヒータムの時間に社員から質問がありました。コーヒータムとは、当社で午前・午後と1日2回全社員が同じフロアで一緒に休憩しながらコミュニケーションを図る制度です。「社長、その計測器は動かしたらなんぼ儲かるの?」「いや、いくら動かしても儲けにならない。」計測器は、プレスなどの設備と違って動かしてもお金を生みません。本当にこの投資はするべきなのか自問自答を続けました。



コーヒータム

◆悩み決断したヘキサゴンアーム式7軸測定器の購入

最終的に、ものづくり生産性向上補助金の活用もあり、ヘキサゴン・メトロジー(株)製アーム式ROMER 7軸システム測定器(接触/スキャナー)を導入しました。このヘキサゴンアーム式測定器は5軸の機能があり、測定物を一回セットするだけで、全ての測定力所を一度に計測することができます。また、パソコンと連動しているため、測定結果の入力が不要で人的なミスの可能性を大幅に低減できます。そして、これにより検査表の添付と当社の治具の精度保証が可能となりました。

企業概要



昭和37年に創業し、以来鋳金加工や3次元レーザー加工を行っています。高い技術力から、大手自動車メーカーの試作車に使われる部品や、試作鋳金の制作を手掛けてきました。また、タイ郊外にて試作部品工場を新設するなど積極的な海外進出を行っています。

主要製品

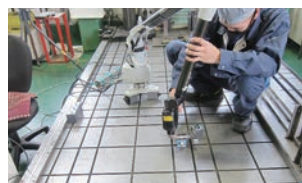
電気自動車アルミフレーム、自動車用インパネP-Pメンバー(インパネ用構造支持バー)等の自動車用試作鋳金部品、農機・建機・電気の各種試作鋳金部品



電気自動車アルミフレーム



インパネP-Pメンバー



ヘキサゴン測定器



データの取込画面

成果と今後の展開

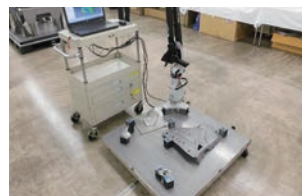
◆ヒロミツブランドへの大きな貢献

悩み購入した測定器ですが、結果的に大きな成果をもたらしました。それは、『信頼』です。特に自動車業界向けでは厳しい安全基準をクリアしなければならない試作部品について大きな効果を発揮しました。問題が発生したときに設計上の問題なのか、加工上の問題なのかなど問題の原因を早急に追究する必要があります。当社の組立用治具はその点全てのデータがあるため、問題の有無を素早く検証することが可能なのです。組立用治具の検査表もそうですが、当社で製造した全ての製品についてもヘキサゴンアーム式測定器での検査結果を添付することで、品質を担保し、ヒロミツブランドを一層強固にすることが可能となりました。

またスキャニング機能も搭載され、面データも短時間で測定が可能です。

◆本事業をきっかけとした新規取引((株)クボタ様)

当社のような規模の会社で、高度な測定器を持っているところはあまりありません。その測定器を展示会に出展したところ、農機具で著名なクボタ様の目にとまり、新規取引と農機の事業に参入をする大きなきっかけとなったので



展示会への出展



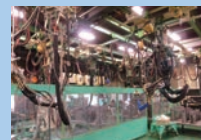
3Dパイプベンダー

主要取引先

ダイハツ工業(株)、(株)クボタ、鳥羽工研(株)、鳥羽工産(株)、矢作産業(株)、(株)川村金属製作所、葵機械工業(株)、ナミコー(株)、(株)エヌエープロテック、トキワ工業(株)、トップ金属工業(株)、(株)ヴァルド

主な保有設備

3D/2Dレーザー加工機、3Dハンディースキャナー、プレス、マシニングセンター、3Dパイプベンダー、ポータブルスポット溶接機、アーム式ROMER 7軸システム測定器(接触/スキャナー)、ZAS(亜鉛合金試作型) 鋳造システム

プレス
(800t,300t,100t)ポータブルスポット
溶接機

マシニングセンター

す。ものづくり補助事業においては、自動車分野でのその後、『平成28年：自動車用部品の試作技術を生かした量産部品の生産への受注販売化事業』の実施を行い、新しい分野への挑戦として『平成30年：新規事業展開(建機・農機部品製造)へ向けた設備導入事業(3Dパイプベンダーの導入)』を実施することができ、事業への更なる成長につながりました。

◆「ヒロミツ製作所」の未来図

鋳金の世界に飛び込んで半世紀たちましたが、今なお日々の仕事に夢中で、楽しくて仕方ありません。次の半世紀のために、設備投資も必要ですが、人と人との信頼関係が最も重要な基盤と考えます。今いる場所で競争に勝つためには、日々技術を磨きながら戦略的に、組織的に企業を成長させる必要があります。今いる社員には、声をかけながら時に厳しく、色々な業務を経験させて、明るく120%の力を出してゴールに向かう会社を常に目指しています。それ以外にも、コーヒータムやBBQ、フットサルチームなど様々な活動を通じて風通しが良く、人と人の信頼関係がある会社を次の半世紀も目指していきます。

2019年6月 経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」受賞

2020年10月 経済産業省「地域未来牽引企業」に選定



HTT ヒロミツテクノアート タイランド



はばたく中小企業・小規模事業者300社 表彰状